

鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長 鴻池 忠彦）は、経営理念「高い品質のサービスを提供し、世界の人々の幸福と安全で安心な社会の実現に役立つプロフェッショナルサービス集団を目指します。」を達成することを目的に、千葉県千葉市に「安全品質研修センター」を開設し、6月12日に竣工式を実施しました。当社では「安全」「品質」を教育する研修センターとしては、2011年11月、大阪に開設した「鴻池テクノ研修センター」※<sup>1</sup>に引き続き、2拠点目となります。

当センターは、現場の管理者、リーダーとして必要な安全・品質に対する意識・スキル（技能）・知識習得に重点を置いた各種研修を通して、安全・品質に秀でた“プロフェッショナル”を育成。特に実践研修を通して、現場の作業に直結したスキル（技能）・技術習得を目指して、体験・体感・実習・診断教育を行います。

（主な研修内容）

① 安全・品質の知識を習得する「座学研修」

現場の管理者・リーダーに対し、当社が長年、現場で培ってきた安全・品質のノウハウや改善事例、そして現場に関係する法令などの知識を教育。

② 危険体験を通して、「安全」「品質」の重要性を知る“体感教育”

挟まれ危険体験機、巻込まれ危険体感機、ドライブシュミレーターを使った模擬体感を通して、安全行動・安全運転の重要性を教育。

③ フォークリフト専用コースを使ったフォークリフトの技能研修と資格取得研修

フォークリフト専用コースを2面設置。フォークリフト運転手を対象に、基本操作の再徹底とマンネリ操作の修正を行う。また2014年10月より、社内外に向けて募集する「フォークリフト資格習得コース」を開講。

今後は、2つの研修センターを活用し、社員一人一人が「物流会社の一員」、そして「ものづくりソリューション会社の一員」として技術のプロフェッショナルとなることで、国内外を問わず社会に広く通用する人材集団の育成を図っていきます。



安全品質研修センター 外観



巻込まれ危険体感機



フォークリフトの技能研修

《安全品質研修センター概要》

住 所	千葉市中央区若草 1-2-21		
敷地面積	3,300m <sup>2</sup>	建屋面積	630 m <sup>2</sup>
研修内容	<p>■「安全研修（講義・討議）」</p> <p>：職場の安全確保を最優先に、安全管理、安全活動、関係法令などの知識を習得し、現場の管理者・リーダーとして、安全のプロを育成</p> <p>■「挟まれ・巻き込まれ危険体感研修」</p> <p>：挟まれ危険体験機、巻き込まれ危険体感機を使った体感研修</p> <p>■「安全運転診断」</p> <p>：ドライブシュミレーターを使用した運転者適性診断</p> <p>■「技術・技能教育（実技）」</p> <p>：低圧電気、アーク溶接、自由研削砥石の取り扱いなど現場作業に直結した技術・技能習得</p> <p>■技能向上研修（フォークリフト運転）</p> <p>：フォークリフト運転手を対象に、基本操作の再徹底とマンネリ操作の修正を行う。</p> <p>■資格取得研修（フォークリフト運転技能）</p> <p>：フォークリフトの資格を習得できる4日間31時間コースを2014年10月より社内外に向けて開講</p>		

（※1）鴻池テクノ研修センター

2011年11月18日、生産請負（主に食品製造）業務において、安心・安全でお客様より信頼される「ものづくり集団」を構築するため開設。製造ラインで使用する装置や機械類に触れながら、工程管理手法などの座学のみならず、実技スキルを身につけることができるセンター。

住 所	〒555-0013 大阪市西淀川区千舟 3-3-17		
敷地面積	1,500m <sup>2</sup>	建屋面積	1,000 m <sup>2</sup>
研修内容	<p>■「保全教育 基礎編&amp;工作編」</p> <p>：TPM、締結、動力伝達、潤滑等の理解、計測機器、電動工具の扱い方の基本</p> <p>■「体感教育」</p> <p>：事故事例の学習、フォークリフト操作による荷崩れ体験</p> <p>■「フォークリフト操作&amp;自主点検」</p> <p>：基本操作、過去発生不具合から学ぶ自主点検ポイント</p> <p>■「特別教育・技能教育」</p> <p>：低圧電気、アーク溶接、自由研削砥石や機械保全技能士の学科・実技受験指導</p>		

（お問い合わせ先）鴻池運輸 広報・IR室 藤原、柴原 tel:03-6834-1594